



平成 29 年 5 月 15 日

各 位

会 社 名 株式会社プラザクリエイト
代表者の役職名 代表取締役社長 大島 康広
(JASDAQ コード番号 7502)
問 合 先 常務取締役管理本部長 村瀬 伸行
T E L 0 3 - 3 5 3 2 - 8 8 2 6

営業外費用の計上及び平成 29 年 3 月期連結業績の予想値と実績値との 差異並びに個別業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

平成29年5月10日に公表した平成29年3月期（平成28年4月1日～平成29年3月31日）の連結業績の予想値と実績値の差異及び個別業績において前期実績値との差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績の予想値と実績値の差異

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回業績予想 (A)	百万円 21,991	百万円 91	百万円 △201	百万円 12	円 銭 0.95
今回実績 (B)	21,991	105	△175	△46	△3.52
差異額 (B - A)	—	14	26	△58	
増 減 率 (%)	—	15%	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	21,003	△139	△563	△832	△60.47

差異の理由

前回公表から当連結会計年度のプリント事業において、新たに店舗資産の固定資産に関する減損損失59百万円が発生したため親会社株主に帰属する当期純利益が46百万円の損失となる予定です。

2. 個別業績の前期実績値との差異

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回実績 (A)	百万円 766	百万円 7	百万円 △433	百万円 △437	円 銭 △31.82
今回実績 (B)	1,348	157	77	△517	△39.44
差異額 (B - A)	582	150	510	△80	
増 減 率 (%)	75.9	2124.7	—	—	

差異の理由

当社は、当事業年度において当社の100%子会社である株式会社プラザクリエイトストアーズより事業の一部を譲り受けたことにより売上高、営業利益が前事業年度よりそれぞれ5億82百万円、1億57百万円増加いたしました。

また、経常利益の増加理由としては、営業外費用に子会社の貸付金に対する貸倒引当金繰入れが前事業年度より3億78百万円減少したことによるものです。当期純利益の減少理由としては、当社は、平成28年12月22日付けで当社が保有するシンプレスジャパン株式会社の株式すべてをその親会社であるCimpress Investments B.V.に譲渡し、取得価額との差額7億41百万円を関係会社株式売却損として特別損失に計上する予定であります。

以 上